

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2021年10月分】

1. 実施した活動の概要・状況

10月は延期されていた小学校の体験学習や高校でのワークショップ、月末には川内地区でのワーケーションのトライアル事業を実施した。特にワーケーションの事業は、カヤック等のアクティビティを持続的に行うためにはどうすればいいのかを考える契機になった。11月になると雪も少しずつ降り始めるので、冬のアクティビティについて考えていきたい。

（主な活動）

◇10月5日（火） 苫生小学校4年生体験活動

体験館を訪れた苫生小学校4年生78名が体験活動を行った。まず、陸奥湾や下北ジオパークについての講義を行い、その後、陸奥湾で採れた貝殻やシーグラスを使った写真立ての作製に挑戦してもらった。子どもたちには海のことを考えながら楽しんでもらうことができた。

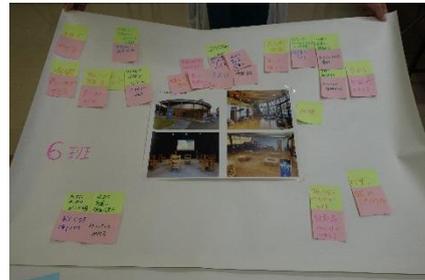


◇10月9日(土) 田名部高校ワークショップ

青森県立田名部高校で、「むつ市海と森ふれあい体験館を拠点にした集いの場づくり」というテーマでワークショップを開催した。参加者は高校生のほか地域で活動を行っている人含めて29名だった。

集まった高校生に、自分たちは普段どういう場所に集まって何をしているのかを考えてもらった後、体験館で何ができるかを話し合ってもらった。

体験館でできることとして、天体観測やアクセサリ作り、お化け屋敷などバラエティに富んだ意見をもらえたので、今後の活動に生かしていきたい。



◇10月28日(木)～31日(日) むつ川内ワーケーショントライアル事業

むつ市および一般社団法人しもきた TABI あしすと主催のワーケーションのトライアル事業に協力し、全国から訪れたゲスト8名に対して、いくつかのプログラムを提供した。

1日目は体験館内でのオリエンテーション、2日目は館内でのワーク(ゲストの執務時間)、3日目はかわうち湖でのカヤック、4日目は館内でのアイデアソンが実施された。2日目の執務時間の際は、ゲストから快適に仕事ができたとの声があった一方、Wi-Fiが繋がりにくいなどの問題もあった。3日目のカヤックは、かわうち湖で実施するのが初めてだったが、ゲストに楽しんでもらうことができた。ただし、機材の運搬など、持続的にプログラムを提供するためには課題も見えた。



2. 翌月の活動予定

11月末～12月中旬にかけて、高校生や地域住民の方々と話し合いや作業を重ねてきた企画展の開催を予定しており、主にその準備を行っていく予定である。